

## ◆ 博物館だより

◇平成21年度関西大学博物館 開館日数・入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	26	17	23	22	6	5	21	20	20	16	13	22	211 (日)
入館者数	1,901	690	788	456	1,475	84	564	1,022	796	167	119	404	8,466 (人)

◇大阪府からの要請を受けて、10月11日（日）に開催された御堂筋 kappo 2009の大阪ミュージアムゾーンに参加しました。淀屋橋近傍でブースを設け、高松塚古墳壁画の再現パネルと昭和中頃の御堂筋界隈の写真パネルを展示したところ、非常に多くの方が足を止めて見学くださいました。当日準備したパンフレット1,500部すべてがなくなるほどの盛況振りでした。

◇11月16日（月）から20日（金）まで博物館実習展を開催しました。今年度は77名の実習生が6班に分かれて、テーマ選定から主体的に取り組みました。その結果、「千里丘陵の須恵器」「丹後ちりめんのあゆみ」「ふろしき 境界となる一枚の布」「すごろく展」「知られざる大阪の伝統工芸 張り子」として、成果を披露しました。会期中に478名のかたにご覧いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

◇平成17年度に、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業として選定されたなにわ・大阪文化遺産学研究所の5年間の集大成として、「なにわ大阪ものがたり～なにわ・大阪文化遺産学研究所5年間の軌跡～」を12月5日（土）から19日（土）まで開催しました。「文化遺産とは何か」を果敢に突き詰めてきた5年間であり、豊臣期大坂図屏風の調査・研究をはじめ、数々の成果をあげることができました。726名の方がたにご覧いただくことができました。

◇4月1日（木）から5月16日（日）まで、「はくぶつかんの海外資料～モノでめぐる世界旅行～」を開催します。



## ・ ・ ・ 編集後記 ・ ・ ・

【阡陵】第60号をお届けいたします。表紙は、モートロック諸島（ミクロネシア）のタプアヌ仮面です。右側の髪に丸い櫛をさしたものが男性、櫛がないのが女性です。戦勝祈願や、台風などの自然災害を追い払うために精霊に扮して仮面をつけ、儀式を行いました。春の企画展で展示しますので、ぜひご覧ください。

本館収蔵品の根幹をなしている本山コレクションを収集した本山彦一（元大阪毎日新聞社主、1853-1932）にまつわる資料を、植田兼司様からご寄贈いただきました。昭和2年に明治節（明治天皇誕生日）を記念して発行した「皇陵巡拝地図」と、77歳の喜寿を記念して「養真」と揮毫した扇面の軸装です。どちら

も氏の学問的、思想的背景を探る上で重要な資料であり、今後、博物館で充分活用していきたいと考えています。「養真」とは「天から受けたままのケガレのない本性を養う」の意で、陶淵明の漢詩にでてくることばです。ちなみに「皇陵巡拝地図」については、宮内庁書陵部の徳田氏から紹介記事を寄稿いただき、今号に掲載しています。

